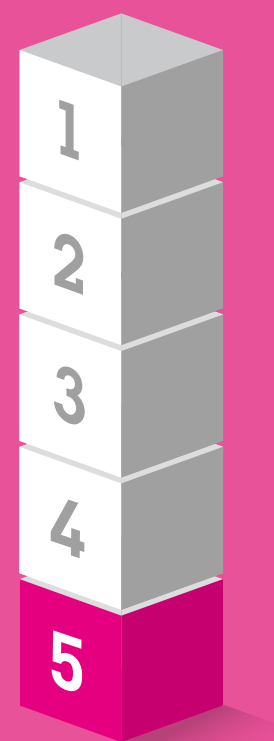


第5部

就職活動に臨む

この数年間で、就職活動のスケジュールは変化しています。
大事なことは、準備を早めに始めることです。

- 就職活動は大学生活の一部であり集大成でもあります。
学生としていかに自分らしく成長し続けられるかが、重要なのです。



第

12

章

就職活動を知る

大学3年生から行われる就職活動は、
社会へ出るための重要なステップです。

ポイントは早い時期から

働く覚悟を持ち、準備を始めること。

この章では就職活動の基本的な動きを知り、
将来の活動に役立てていきます。

1 | 就職活動は面白い

就職活動と聞くと「大変そう」「厳しそう」とネガティブなイメージを持つ人が多いでしょう。

しかし本来、就職活動は成長できる機会であり、前向きに取り組めば多くの楽しみが待っているもの。

就職活動のポイントは、楽しむことにあるのです。

Summary (概要)

1. 就職活動とは何か

- ➔ 社会に出るための第一関門。
学生と社会人とのギャップを埋めるための成長の場です。
- ➔ どのような仕事に就き、社会とどのように関わり合いを持ていくのかを考え、行動していくことです。

2. 就職活動のポイントは楽しむこと

- ➔ 自らの成長に期待し、前向きに取り組む姿勢が大切です。
- ➔ 就職活動は人生最大の社会見学。思いっきり楽しみましょう。



○自立(自律)した自分になるために

誰にでも人生の夢があります。その夢を叶えるためには3つの決断が必要です。その3つとは、「何をして人生を送るのか」「誰と共に人生を送るのか」、「何のために人生を送るのか」。その最初の決断が「仕事選び」です。就職活動は自立(自律)した自分になるための機会。乗り越えるたびに成長できる、社会へ出るための壁です。自分の成長を楽しむ前向きな姿勢で臨み、就職活動を楽しみましょう。

夢を叶えるための3つの決断

- 決断 その1 何をして人生を送るか
- 決断 その2 誰と共に人生を送るか
- 決断 その3 何のために人生を送るか

仕事選びが
就職活動

乗り越えるたびに
成長できる壁



point 1

就職活動の3つの魅力

1. 社会人として働く覚悟を養う

就職活動は社会に出るための第一関門。働く覚悟が問われ、学生から社会人へと成長していく重要なステップです。就職活動を通して、「自分は何をして生きていくのか」「何のために働くのか」を真剣に考えることができます。



2. 人生最大の社会見学

就職活動の魅力は多くの企業を直接見て、知ることができること。企業が丁寧に自社の経営状態や社風、社内の雰囲気まで説明してくれることなど、就職活動中以外ありません。この機会を活用し、多くの企業を知る楽しさを感じましょう。



3. 多くの人と出会い自分を知る

人事担当者やOB・OG、選考が一緒だった他大学の学生。就職活動では多くの人との出会いが待っています。さまざまな出会いは、自分を見つめ直し成長することへとつながるもの。人生が変わるような出会いがあるのも就職活動の魅力です。



point 2

就職活動のために今から始められること

● RKU 総合力を高める

RKU 総合力は企業が学生に求める能力そのものです。「強い就職力」を身につけるためにも、大学生活でRKU 総合力を高めていくことを意識しましょう。

※ RKU 総合力：P5 参照

● 興味のある仕事や企業を探す

今後何を大切に生きていきたいのか、どんな自分になりたいのか。社会での役割やポジションなど、将来の自分をイメージし、早期から就きたい職業や働きたい企業を探していきましょう。

● 早期から働く覚悟を持つ

働くとは世の中にサービスや商品を要求する側から、要求される側に立つということです。そしてプロとして常に成果が求められる立場になります。早い時期から働く覚悟を持ちましょう。

● 大人とのコミュニケーション能力を磨く

就職活動で求められるのは、友人間ではなく「大人とのコミュニケーション力」です。大学生活を通じて、大人(社会人)とコミュニケーションを図る機会を積極的に持ちましょう。

失敗や恥をかくことを恐れずに、
すべてを今しかできない経験と捉えて
就職活動を楽しみましょう。

2 | 就職活動スケジュール

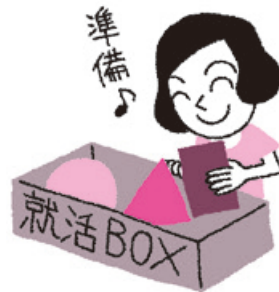
まずは、就職活動の「全体像をつかむ」と「流れを知る」ことが大切です。

就職活動とは、いつ何をすれば良いのか、大学や企業が動き始める一般的なスケジュールを紹介します。どの時期に何をすべきかを把握し、自分なりの就職活動スケジュールを立てましょう。

表紙裏のカレンダーで、3年次3月まで、あと何日あるか、数えてみよう！

○就職活動で大事なこと

就職活動では志望理由の他に、「学生時代に力を入れてきたこと」「あなたの長所」など様々な質問がされますが、総じて企業が知りたいのはつまり「あなたはどのような人ですか?」ということです。付け焼刃的なマニュアルで行う自己PRは企業には簡単に見抜かれると思った方が良いでしょう。それよりも大事なことは、あなた自身の魅力を高めていくことです。



○1・2年生のうちにできることは？

自分自身の魅力は自分を磨くことでしか向上しません。そのために1・2年生のうちにできることは、大学での勉強や基礎学力の向上に加えて、部活動やサークル、アルバイトなどの活動を一生懸命頑張ることです。それらの活動を通してコミュニケーション力を養いましょう。他者との関わりの中で自分の強みや特徴を知り、「成長する」ということを意識した日々を過ごしましょう。また、最近では1・2年生でも参加できるインターンシップもありますので、興味のある人はぜひ探してみてください。ただし日々の授業がおろそかにならないよう注意しましょう。



龍ヶ崎 就職支援センター



新神戸 就職支援センター

○3年生からの就職活動スケジュール 企業の動き等は年度や業界により変動することがあります。

企業 の採用 スケジュール	4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September	10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March	4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September	10月 October	11月～ November
	3年生										4年生									
流れ大生の就職活動	就職準備期（自己分析・情報収集・業界研究・企業研究・職種研究等）										就職活動実行期									
	インターンシップの実施										内定獲得期									
	大多数の企業が、3年次3月から情報公開と学生への接触を開始します。 就職活動は一気に高密度で始まり、長期化します。 筆記試験対策など事前にできる準備を始めておきましょう。										就職活動後期									
	「就職ガイダンス」には積極的に参加しましょう。										採用情報の公開									
	● 就職情報サイトへの登録 ● 就職活動とは何かを考える ● 業界研究に取り組み始める ● 自己分析に取り組み始める ● インターンシップに参加する ● インターンシップに参加する ● 新聞で時事用語をチェックし始める ● インターンシップに参加する ● インターンシップに参加する ● 履歴書、エントリーシートの作成準備 ● 業界、企業選びのポイントを整理										就活ナビサイトオープン エントリー受付 セミナー・説明会開催 選考（エントリーシート・書類・筆記・面接） 内々定 正式内定開始									
進路（就職）登録カードを大学に提出する	● 自己PR、志望動機をまとめて履歴書の作成を終える ● セミナー参加後、エントリーシート提出 ● 業界、企業を徐々にしぼり込み、エントリーする ● インターンシップに参加する										毎月、学内にて合同企業説明会を開催 ● 一次・二次と進む ● 面接（個人・グループ）のピーク ● 選考開始。採用試験（筆記など）を受ける ● 重複内定者は企業を選択する ● 内定承諾書を提出 ● 内定獲得のピーク、順次内定が出る ● 内定式に参加（通常は10月1日）									
											選考や内定の時期は企業によって異なる 焦らずに活動しよう！ 進路（就職）決定者は、就職支援センターに届け出る									

3 | 自己分析

自己分析とは「自分を知ること」。「どんな仕事に就きたいのか」、「どんな仕事に向いているのか」、「なぜそう思うのか」、自分自身を理解し納得いくまで考え抜くことです。就職活動では、自分のことを相手(会社)に伝えます。それは、自分自身のことを良く理解していなければできません。自己分析は就職活動の方向性を決める大切なプロセスです。



自己分析のメリット

×メリット1

自己PR・志望動機のベースになる

客観的に自分自身を見つめることで、自分の性格や価値観、長所・短所がわかり、面接などでしっかりとした自己PRができます。

×メリット2

仕事のミスマッチをなくす

「どんな仕事に就きたいのか」「どんな仕事に向いているか」を把握することで、自分自身の軸が見えてくるものです。これにより主体的な就職活動が行えます。

×メリット3

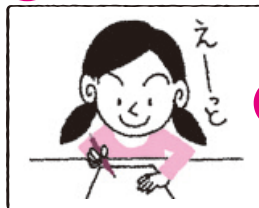
仕事選びの基準を持てる

自己分析を行うと、自分の性格、人間性、どんな人生を送りたいのかが見えてきて、仕事選びの中で譲れるもの、譲れないものなど、自分なりの優先順位が定まってきます。



自己分析の進め方

- STEP 1 過去から現在までの出来事を書き出す
- STEP 2 自分の「強み(長所)・弱み(短所)」を知る
- STEP 3 第三者から自分を分析してもらう
- STEP 4 未来の自分を考える



自分は今まで、どんなことに興味を持ち、それに対してどんな行動をとってきたかなどを再確認。自分の性格や考え方がはっきり見えてきます。大切にしてきたもの、どうしても譲れないこと、そしてその理由などを考え、仕事選びの「軸」をつくりましょう。



次は自分の強み・弱みを書き出します。高校、大学と過去の行動をいくつかピックアップし、強み・弱みの根拠となる具体例を見つけ出します。強みを活かして何ができるか、弱みをどう克服していくかを考えます。



家族や友人、先輩など普段付き合いのある身近な人から自分に対しての印象を聞いてみましょう。自分の気づかない「良い面・悪い面」が見えてきます。自分を客観的に理解することで、新しい自分が見つかることも。



未来の働いている自分の姿を想像してみます。将来を具体的にイメージすることで、5年後・10年後どんな自分でいたいのか、どんな仕事に就き、どんな企業に就職したいのかが、よりはっきり見えてくるでしょう。

自己分析に終わりはない!

さまざまな企業を訪問し、多くの人と話すことで自分の新たな可能性や適性に気づくことがあります。自己分析は就活中も続けていくものだと考えておきましょう。

P67の自分史も参考にしよう!



4 | 業界研究&インターンシップ

業界研究は、自分のやりたい仕事はどこに行けばいいのか、どの業界にあるのか調べることです。その際に有効なのがOB・OG訪問。実際にその企業に勤務している本学の先輩に直接会い、人事担当者に聞きづらいことなど生きた情報を入手します。インターネットばかりに頼るのではなく、1・2年生の頃から自分の足で生の情報を入手する習慣を身につけましょう。



業界・企業研究のポイント

ポイント1

できるだけ広い視野で調べる

自分の興味や適性から、多くの業界・企業をピックアップしましょう。最初は特定の業界や企業に絞って研究するのは避けます。アルバイトや学生生活の中で、意識して広い視野で物事を見る習慣を身につけましょう。

ポイント2

関心を持った業界はさらに詳しく調べる

業界内の代表的な企業、市場規模や、業界で求められる人材像、給与水準など、詳しく調べてみましょう。また、業界内の各企業の違いにも注目し、理念、事業展開の特徴、商品やサービスなどの強み・弱み、人材育成方針などを比較検討します。このことは、「なぜ他社ではなくこの会社なのか」という志望動機につながります。

業界・企業研究の情報源

- ・新聞・雑誌・ビジネス書籍
- ・インターネット・企業説明会
- ・就職情報サイト

就職支援センター

就職活動に役立つ参考資料や就職活動報告書など、先輩の貴重な経験談を記載した資料を取り揃えています。



インターンシップ(職業体験)に参加しよう!

個人で申し込むインターンシップ

主に夏季(7~9月)と冬季(2月)に各企業が実施していて、個人で申し込みます。期間は「1日」や「2~3日」の短期間のもも多く、夏季より冬季に参加する学生が増加しています。

インターンシップに参加するには次のような方法があります。

- 民間の学生支援サイト(リクナビ、マイナビ、キャリアス等)が募集するインターンシップに応募する。
- 経済団体等が紹介するインターンシップ先に応募する。
- 企業・官公庁・団体等が独自に行う募集に応募する。

授業のインターンシップ

全学科でインターンシップの授業を開講しています。春学期に勤務の意義や職場でのマナーの事前指導を受け、主に夏季休暇中に学校を通じて申し込んだ行政機関などで5日間程度の実務体験・研修を行います。

主な実習派遣実績

インターンシップ

日本通運株式会社、日通商事株式会社、日通不動産株式会社、日通旅行株式会社、野村證券株式会社、清水建設株式会社、株式会社千葉ロッテマリーンズ、株式会社アクセスヒューマネクスト、SMCB日興証券株式会社、株式会社アローコーポレーション、株式会社ケースホールディングス、千葉トヨタ自動車株式会社、川崎陸送株式会社、株式会社生活科学運営、千葉県庁、岩手県庁、群馬県庁、龍ヶ崎市役所、松戸市役所、船橋市役所、柏市役所、流山市役所、吉川市役所、三栄市役所、三郷市役所、取手市役所、春日部市役所、茨城県庁、石岡市役所、東海村役場、墨田区役所 など

海外インターンシップ

ホームステイを兼ねたRKU独自のプログラム。現地での実習体験を通して、ビジネスに不可欠な国際センスと実践英語を鍛えます。

■ カナダ(バンクーバー) JTBオフィス

5 | エントリーシート

エントリーシートとは企業が独自に作成した応募書類のこと。7割以上の企業が導入しているといわれています。エントリーシートの審査が一次選考という企業も多く、通過しないと面接など次のステップへ進めません。就職活動の第一関門となるエントリーシート。しっかりと自己アピールできるように、早い時期からエントリーシートの作成準備をしておきましょう。



エントリーシートの使われ方

書類選考(一次選考)

エントリーシートの内容を見て、次の選考に進めるかどうかを決めることがほとんど。ここで不合格になると、面接を受けることができません。

面接時の資料

エントリーシートの内容は面接試験の重要な資料となり、エントリーシートを元にさまざまな質問がされます。また企業によっては、入社後も配属などの際の人事資料として使われることがあります。



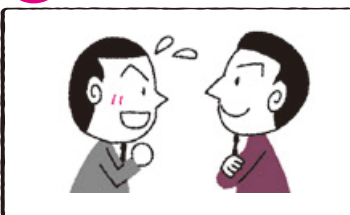
エントリーシートで何を見るのか

Check A 入社意欲は本気か



「同業他社ではなく、なぜこの会社を志望したのか」が重要になります。業界研究と企業研究をしっかり行うことがポイントとなります。

Check B 仕事に対する適性はどうか



あなたの強みが、その会社でどう活かせるか? 将来会社に貢献してくれるか? あなたの自己アピールや考え方を、将来を推し量ります。

Check C 性格・人柄が社風にあってるか



あなたが企業の社風や人材戦略にマッチするの? あなたらしい「自分の言葉」で、人柄を飾らずに表現することが求められます。



多くの学生が受ける企業では、1人の担当者が何千枚も見ると、きたないエントリーシート、つたないエントリーシートは読む時間がかかる=落とされやすい!

↓ エントリーシート作成のポイント

見た目のポイント

- 1 黒のボールペンまたは万年筆で書く
- 2 修正液は使用しない。下書きをしてから消す
- 3 びっしり書かないで、読みやすく書く
- 4 文字は丁寧に書く

表現のポイント

- 1 一般的な言葉でなく、自分らしい言葉で表現する
- 2 具体的なエピソードを引用する
- 3 結論▶説明の順番で簡潔に書く
- 4 面接で聞かれて困ることは書かない



6 | 面接

採用試験には、書類選考や筆記試験、そして面接試験があり、社会人としての基本的な学力や一般常識に加え、コミュニケーション力、志望動機などが問われます。面接では会話によるコミュニケーションを通じて意欲(やる気)、職務の適性(仕事をこなす能力)、適応力(職場に溶け込めるか)などを総合的に判断していきます。



面接の種類

集団面接



複数の学生が同時に面接を受ける形式。応募者の絞り込みを目的に、一次面接で行われるケースが多い。簡潔に印象強く話せるかが重要となる。

個人面接



一人の学生に対し、一人または複数の面接官によって行われる。人柄、態度、適性、志望動機などが試される場。アピールポイントをじっくり伝えるチャンス。

グループディスカッション



学生を数人のグループに分け、テーマや条件を与えて学生同士で討論させる形式。集団での役割やコミュニケーション能力が評価の対象となる。

プレゼンテーション



あらかじめ課題が与えられ、それに対して企画を考え、資料をまとめ、面接官の前でプレゼンテーションを行う。発表までの過程をすべて一人で行う。



面接で企業はこんなところを見ている

- 人柄に好感が持てるか
- 自分の言葉で話しているか
- 責任感はあるか
- 理解力・判断力はあるか
- 信念を持っているか
- 社会人としてのマナーをわかっているか
- 意欲・熱意が感じられるか
- 協調性はあるか

将来のビジョンを持っているか

ストレス耐性はあるか

ストレス耐性は現代社会において重要なポイントです



面接で良く聞かれる質問

自己PR (セールスポイント)

自分を客観的に分析し、それを的確に伝えられるかが大事。

志望動機

自分の強みは何か、その強みを活かして会社で何をしたいのかを伝える。

学生時代に打ち込んだこと

何に打ち込んだのか、それによって何を不得、今後どう活かしていきたいのかを伝える。

入社してやりたいこと

チャレンジ精神があるのか、仕事内容をしっかり把握しているのかが問われる。

1・2年生から会話力を磨いておく

面接での重要なポイントである「言葉のキャッチボール」には、慣れが必要です。模擬面接はもちろん、年長者と会話する機会を積極的に持つなども、面接試験の良い訓練になります。1・2年生のうちから会話力を磨いておきましょう。

大学の就職支援を活用しよう 就職活動は、大学生活の集大成!

各業界や企業から高い評価を得ている流通経済大学。その背景にはガイダンスやセミナー、サポートツールをはじめとする充実した就職支援プログラムがあります。実践的な内容で、一人ひとりの就職活動を力強くサポートします。

■ 就職支援の特徴

1 早期の就職活動対策



自分に合う進路を選択するには、早めの準備が大切です。そこで、2年生に向けて「就職準備講座」を開催。就職に対する意識を無理なく高めていきます。
※1年生も参加可能です。

2 個別相談の充実



学生の就職に対する悩みはさまざま。窓口では各人のさまざまな悩みを聞きながら「親切に」「丁寧に」「時間をかけて」すばやく対応しています。

3 就職活動の旬の情報を提供



内定者の学生や企業の方など、就職の最前線を知る人たちの話を聞く機会があります。「就活をリアルにイメージできた」と毎年感想が寄せられます。

就職支援センターの使い方 いつでも気軽に利用しよう

就職の質問や悩み相談・情報提供・面接練習など、皆さんの就職活動をサポートしてくれる中心となるのが「就職支援センター」。ガイダンスやセミナー、説明会なども開催してくれる、頼もしい味方です。いつでも気軽に来室してください。

就職支援センター

就職相談

就職活動は誰もが初めて経験することです。多くの不安を抱えているのではないのでしょうか。就職支援センターでは随時個別相談を行っています。もちろん1・2年生も大歓迎です。就職や将来のことに関してなら、どんなことでもかまいません。気軽に来室してください。

事務取り扱い時間

月～金:9:00～18:00 土:9:00～12:00

(注) 夏・冬・春季の長期休業期間中の取り扱いについては、事前に掲示板(Ring)で案内します。

掲示

さまざまな情報提供の連絡を、Ring内の就職で行っています。定期的にチェックするようにしてください。就職支援センター掲示コーナーには、新聞社、就職情報会社などが主催する合同企業セミナーの案内もあります。

行事

就職支援センターでは、就職に関するさまざまな行事も開催しています。積極的に参加しましょう。

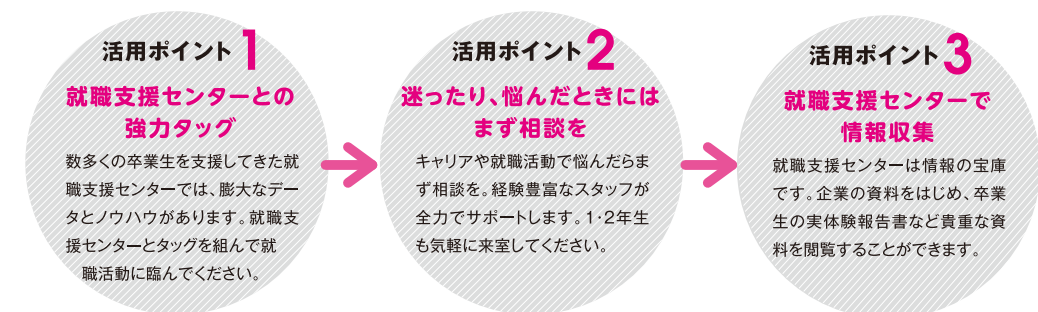
- 就職ガイダンス・セミナー
- 学内合同企業説明会
- 各種模擬試験

資料コーナー

求人票をはじめ、就職に役立つ情報誌や書籍、資料を多数取り揃えています。自由に閲覧できますので、企業研究や試験対策に役立ててください。

- 求人票
- 会社案内
- 就職活動報告書
- 就職試験対策書
- 新聞・ビジネス情報誌 など

その他、インターンシップや教職・公務員などに関する資料や情報も常備しています。



就職支援プログラム

就職活動の基礎を学ぶ「就職ガイダンス」

就職支援センターでは、就職活動を順調に進めるために「就職支援プログラム」を準備しています。特に就職活動が本格化する3年生に対しては、体系的なガイダンスを実施します。就職模試や就職適性検査、4年生内定者による就活体験発表会や業界・企業セミナーなどを実施します。他にも1・2年生向けのガイダンスもあります。

RKU就活ガイダンス

就職活動についてはもちろん、社会に出て働くということなど、基礎の基礎から指導します。

就職実践模試・就職適性検査

一般常識とSPIの両方に対応できる就職模試を受検します。また自身の強みや職業興味・価値観といった診断データと、それをもとにしたワークで、エントリーシートの作成を支援します。

業界・企業セミナー

各業界・企業の人事担当者から会社概要や業務内容が直接聞くことができ、業界・企業研究に役立ちます。

ゼミ別就職ガイダンス

就職支援センターのスタッフが、ゼミの時間に就職活動の手続きについて説明します。

4年生内定者就活体験発表会

4年生の内定者が語る就職体験談など先輩たちの具体的な体験とアドバイスを聞くことができます。

第12章のまとめ

1 就職活動を楽しむ姿勢が大切

就職活動とは社会に出るための第一関門。働く覚悟が問われ、学生から社会人へと成長していくステップです。多くの企業や人と出会い、自分を見つめ直し、飛躍的に成長していく期間。それは就活生だけの特権です。自らの成長に期待して前向きに取り組む姿勢を持ち、人生最大の社会見学を楽しみましょう。

大学生生活でやっておくこと

RKU総合力を高める

興味のある仕事や企業を探す

働く覚悟を持つ

大人とのコミュニケーション力を養う

2 早い時期から準備し、動き始める

就職活動で問われることの一つは、「学生時代に何をしてきたのか」。就職活動が始まってから焦って身につけたつけ焼き刃的なマニュアルは通用しません。1・2年生から就職活動を意識して大学生活を送ることが重要です。就職活動の「全体像」と「流れ」を知り、どの時期に何をすべきか、自分なりのスケジュールを立てましょう。

3 自己分析と業界・企業研究を行う

自己分析

就職活動とは自分のことを相手（企業）にアピールすることです。そのためには、自分自身のことを理解しておく必要があります。自己分析とは「自分を知ること」。「どんな仕事に就きたいのか」、「なぜそう思うのか」、自分自身について納得のいくまで考え抜くことです。1・2年生から始めておきましょう。

自己分析は「自分を知る」こと。仕事選びの基準になる

「自分」は絶えず成長するもの。自己分析は就活中も続けていく

自己分析を踏まえて「自己PR」や「志望動機」を考える

業界・企業研究

業界・企業研究とは、自分のやりたい仕事はどこに行けばやれるのか、業界・企業を調べることです。OB・OG訪問、インターンシップなどを行い、生の情報を集めることが大切。はじめのうちは幅広く調べ、興味のある業界・企業が見つかったらさらに深く調べていきましょう。

世の中にはさまざまな業界・企業がある。始めは幅広い視野で調べる。

就職支援センターや新聞、雑誌、インターネット、就職情報サイトなどを活用する。

OB・OG訪問では、資料やホームページでは分からない実際の職場の雰囲気などを聞ける。

就職活動は成長できる機会
早い時期から準備し、動き始めよう！

流通経済大学の歌

土岐 善彦 作詞
渡辺 浦人 作曲

Allegro

mp

1 ま つか ぜう らら か に み どり かが や き さ
2 つ づく やか ざり なく い なほ なび き て こ

く らさ き に おう だ いち にたつ と き
こ ろす こ や か に こ えよ びかわ せ ば

f

み よ み じか すみ つく ばはれ たり
あ あ い まつ ねに きぼ うみち たり

mf

とおきもの ちかきもの てんちはひろ し せ いけん かたく
わきあがる よろこびよ みらいもかく て せ いしゅんともに

せ かいとむすびて じゅう の みちに ふん 一か あり
ゆうじょうふかめて じだい の ちから あら 一た なり

Coda

ほ こ れその なも りゅう がさき に 流 通 経 済 大 学 だ い が く あり
い きた か ら か に わ れ ら あ り

一、松風うらかに 緑かがやき
桜さきにおう 台地に立つとき
見よ 富士かすみ 筑波晴れたり
遠きもの 近きもの 天地は広し
聖夢かたく 世界と結びて
自由の道に 文化あり

二、つづくやかぎりなく 稲穂なびきて
こころ健やかに 声呼びかわせば
あ、いまつねに 希望満ちたり
わきあがる よろこびよ 未来もかくて
青春ともに 友情深めて
時代のちから 新たなり
誇れその名も電ヶ崎に
流通経済大学あり
意気高らかに われらあり

流通経済大学の歌

